eo光ベーシックルータ

（BAR100M01）

取扱説明書

株式会社ケイ・オプティコム

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

■ 目次

1. 設定画面を開く 2

2. ステータス画面で接続状態を確認する 3

3. 基本設定 5
3－1 インターネット接続設定 5
3－2 DHCPサーバー機能設定 7
3－3 IPアドレス固定割り当て設定 9
3－4 パスワード設定 10

4. 高度な設定 11
4－1 ポートの開放設定 11
4－2 UPnP設定 13

5. セキュリティー設定 14
5－1 システム管理設定(管理者タイムアウト設定) 14

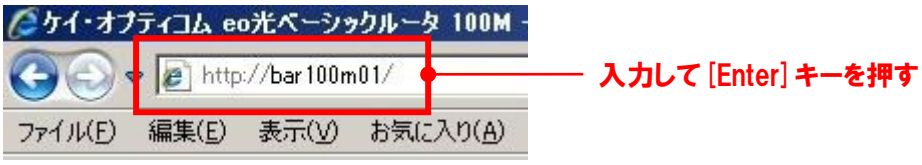
6. 本体管理設定 15
6－1 時刻設定 15
6－2 ログ表示 16
6－3 ファームウェア更新 18
6－4 設定の保存と復元 19
6－5 出荷時設定に戻す 20
6－6 再起動 22

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

1. 設定画面を開く

(1)Windowsの場合、Webブラウザを起動して以下を入力して開きます。

http://bar100m01/



Mac OSの場合、Webブラウザを起動して以下を入力して開きます。

http://192.168.0.1/

(補足)

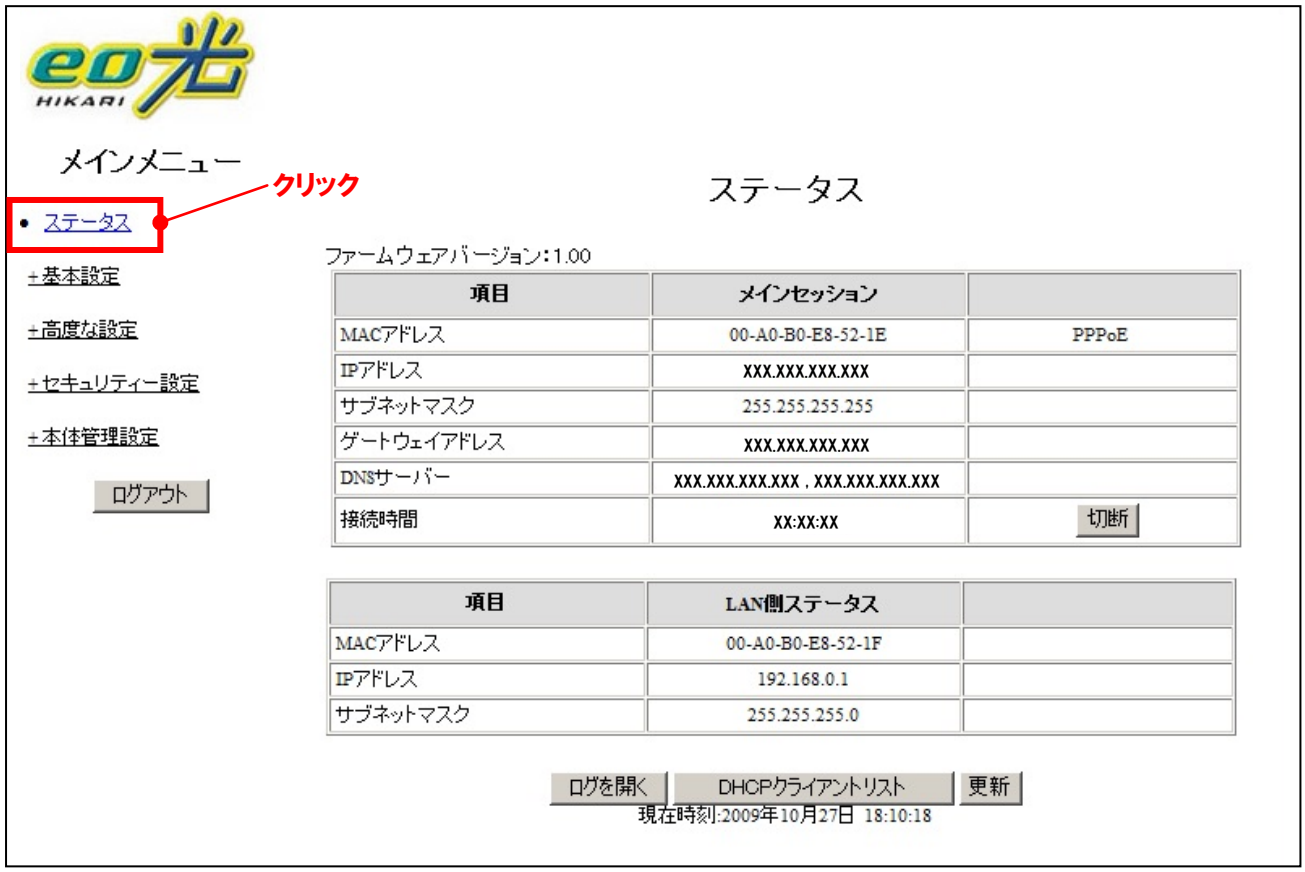
ステータス画面および設定画面は、本製品がパソコンにLAN接続されていれば(インターネットに接続されていなくても)呼び出すことができます。

(2)ステータス画面および設定画面が表示されます。この画面から接続状態確認および各種設定を行います。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

2. ステータス画面で接続状態を確認する

[メインメニュー] から [ステータス] をクリックします。ステータス画面でインターネットへの接続状態を確認できます。



(1)インターネット側ステータス

項目	内容
MAC アドレス	本製品 (インターネット側) の MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	本製品 (インターネット側) の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品 (インターネット側) のサブネットマスクを表示します。
ゲートウェイアドレス	本製品 (インターネット側) のゲートウェイアドレスを表示します。
DNS サーバー	本製品 (インターネット側) の DNS サーバーアドレスを表示します。
接続時間	セッションの接続時間を表示します。

(2)LAN側ステータス

項目	内容
MAC アドレス	本製品 (LAN 側) の MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	本製品 (LAN 側) の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品 (LAN 側) のサブネットマスクを表示します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

（３)ボタン(ステータス表の中）

項目	内容
接続	インターネットに接続します。
切断	インターネットから切断します。

（４)ボタン(ステータス表の下）

項目	内容
ログを開く	本製品のログ情報を表示します。
DHCP クライアントリスト	DHCP サーバーに接続されたパソコンの情報を表示します。
更新	最新のステータスに更新します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

3. 基本設定

3－1 インターネット接続設定

[メインメニュー] から [基本設定] → [インターネット接続設定] をクリックします。インターネット接続設定画面でインターネットの接続設定ができます。

(1)LAN側設定

項目	内容
IP アドレス	本製品 LAN 側の IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	本製品 LAN 側のサブネットマスクを表示します。[255.255.255.0] 固定で、変更はできません。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

(2)インターネット側設定

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">接続方法の設定</td><td colspan="2">当社の接続方式である[PPPoE 認証接続]固定で、変更はできません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ユーザーID</td><td>eo光ネット登録証に記載されている[認証ID(ユーザー名)]のIDを入力します。</td><td rowspan="2">【eo光ネット　登録証　見本】
</td></tr>
<tr><td colspan="2">接続パスワード</td><td>eo光ネット登録証に記載されている[認証IDパスワード(初期)]のパスワードを入力します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">DNS サーバー1、2</td><td colspan="2">設定の必要はありません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">MTU 値</td><td colspan="2">MTU 値を変更します。(初期値:1454)</td></tr>
<tr><td colspan="2">無通信切断時間</td><td colspan="2">通信していない場合、自動切断を行う時間を設定します。この項目で設定した時間を超えると自動的に切断します。(初期値:2100 秒)</td></tr>
<tr><td colspan="2">再接続設定</td><td colspan="2">PPPoE セッションの再接続に関する設定を行います。</td></tr>
<tr><td></td><td>常時接続</td><td colspan="2">PPPoE セッションが切断しても、自動的に再接続を行います。</td></tr>
<tr><td></td><td>オンデマンド接続</td><td colspan="2">インターネット利用時、自動的にインターネットに接続する場合に設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>手動接続</td><td colspan="2">必要なときに「ステータス」画面の[接続]ボタンをクリックして手動でセッションを接続します。</td></tr>
</table>

(3)ボタン

項目	内容
設定	入力内容が設定されます。設定した内容は再起動するまで反映されません。
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

3－2 DHCPサーバー機能設定

[メインメニュー]から[基本設定]→[DHCPサーバー機能]をクリックします。DHCPサーバー機能画面でDHCPサーバー機能の有効/無効設定、およびDHCPサーバー機能が有効の場合の各種設定ができます。

(1)DHCPサーバー機能設定

項目	内容
DHCP サーバー機能	DHCP サーバー機能の有効/無効を設定します。 有効:本製品の LAN ポート([PC1]～[PC4])に接続したパソコンの IP アドレスを自動的に割り当てます。 無効:DHCP サーバー機能を使用しません。
開始 IP アドレス	DHCP サーバー機能を有効にした場合に、割り当てる IP アドレス範囲の最初の IP アドレスを指定します。
終了 IP アドレス	DHCP サーバー機能を有効にした場合に、割り当てる IP アドレス範囲の最後の IP アドレスを指定します。
リース時間	パソコンに割り当てる IP アドレスの保持時間を設定します。
DNS サーバー1、2	設定の必要はありません。 (LAN ポートに接続したパソコンに、割り当てたい DNS サーバーを指定する場合に使用します。)
ゲートウェイアドレス	設定の必要はありません。 (LAN ポートに接続したパソコンに、割り当てたいゲートウェイアドレスを指定する場合に使用します。)

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

（２)ボタン

項目	内容
DHCP クライアントリスト	DHCP サーバーに接続されたパソコンの情報を表示します。
IP アドレス固定割り当て	指定した MAC アドレスに対し、毎回固定の IP アドレスを割り当てます。
設定	入力内容が設定されます。設定した内容は再起動するまで反映されません。
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

3－3 IPアドレス固定割り当て設定

[メインメニュー]から[基本設定]→[IPアドレス固定割り当て]をクリックします。指定したMACアドレスに対し、常に固定のIPアドレスを割り当てることができます。

(1)IPアドレス固定割り当て設定

項目	内容
IP アドレスを固定割り当てする	指定した MAC アドレスに対し、毎回固定の IP アドレスを割り当てたい場合に[有効]にチェックをつけ、リストに登録します。
MAC アドレス	固定割り当てにしたい機器の MAC アドレスを入力します。 (例)00-A0-B0-xx-xx-xx
IP アドレス	割り当てる IP アドレスを設定します。
DHCP クライアントリスト	現在 DHCP サーバーに接続されたパソコンの MAC アドレスと IP アドレスを選択した番号に設定したいとき、MAC アドレスと番号を選択し[コピー]ボタンをクリックします。

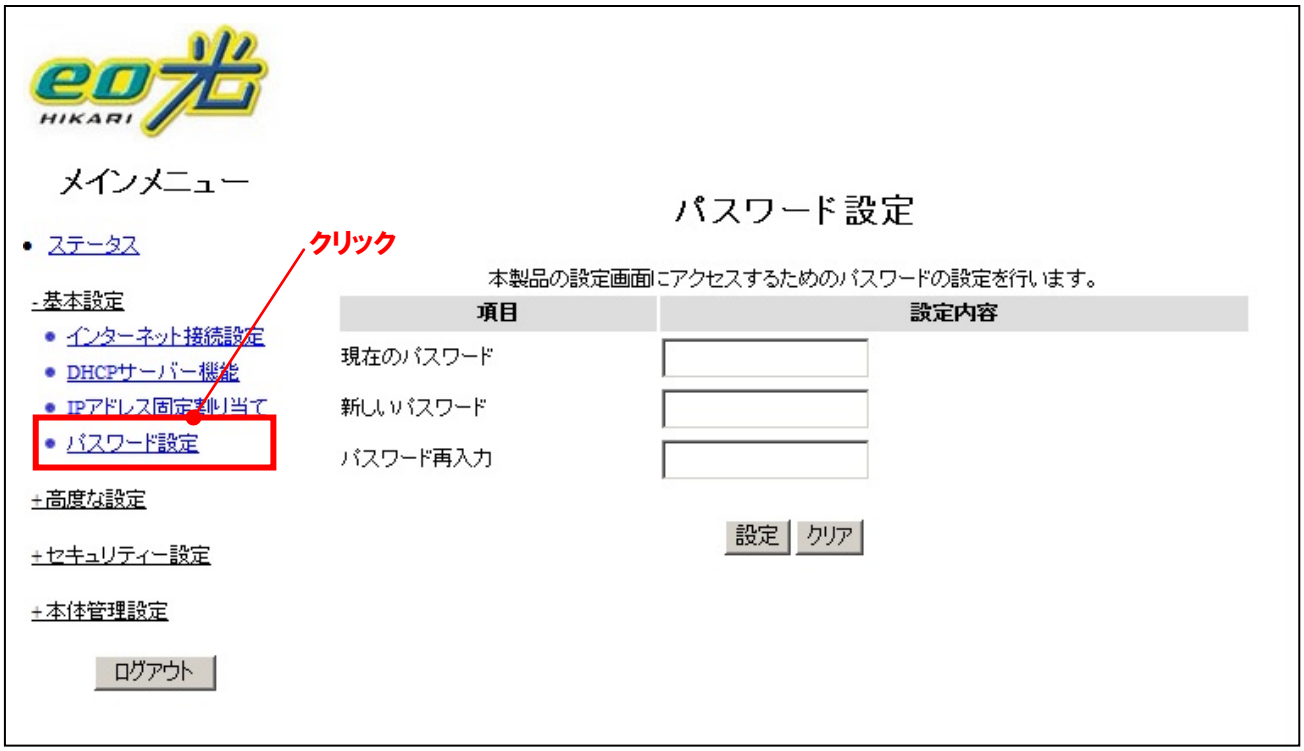
(2)ボタン

項目	内容
前ページ	前のページを表示します。
次ページ	次のページを表示します。
設定	入力内容が設定されます。設定した内容は再起動するまで反映されません。
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

3－4　パスワード設定

［メインメニュー］から［基本設定］→［パスワード設定］をクリックします。本製品の設定画面にログインするためのパスワード設定ができます。



(1)パスワード設定

項目	内容
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワード再入力	新しいパスワードを再入力します。

(2)ボタン

項目	内容
設定	入力内容が設定されます。設定した内容は再起動するまで反映されません。
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

4. 高度な設定

4－1 ポートの開放設定

［メインメニュー］から［高度な設定］→［ポートの開放］をクリックします。インターネットに公開するポート番号を設定できます。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

(1)ポートの開放設定

項目	内容
ポート番号	インターネットに公開するポート番号を入力します。単一ポートの指定、ポート範囲での指定が可能です。 (例) 単一ポート:80 ポート範囲:2000-2999
公開する機器の IP アドレス	インターネットに公開する機器の IP アドレスを入力します。
有効	設定を有効にするには、[有効] にチェックします。
主なポート	よく使用される代表的なポート番号のサービス名称を選択します。
番号	設定する番号を選択します。
[選択した内容をコピーする] ボタン	上のリストに選択した内容を設定します。

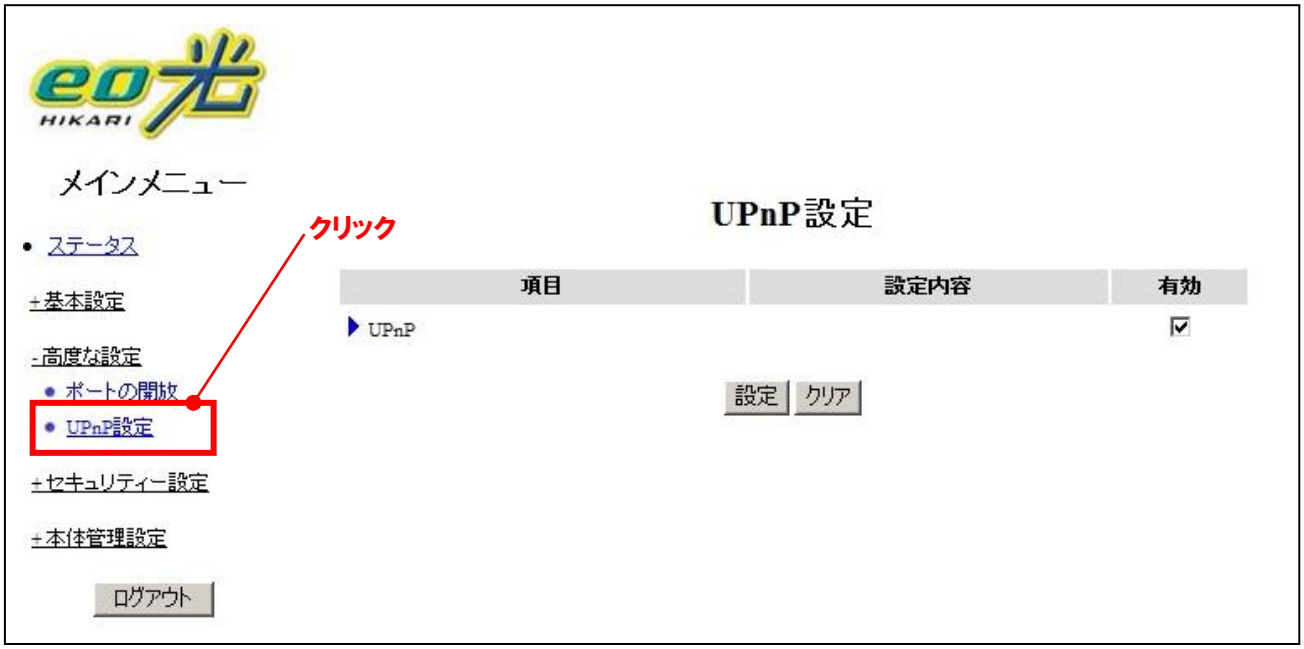
(2)ボタン

項目	内容
設定	入力内容が設定されます。設定した内容は再起動するまで反映されません。
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

4－2 UPnP設定

[メインメニュー]から[高度な設定]→[UPnP設定]をクリックします。UPnPに対応したゲーム機などを利用できるようにします。



(1)UPnP設定

項目	内容
UPnP	UPnP を有効にするには、[有効]にチェックします。 UPnP とは、Universal Plug and Play (ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ) の略で、 ネットワーク装置、ソフトウェア、および周辺機器の間での適合性を提供する ネットワークアーキテクチャのことをいいます。 本製品は UPnP 対応ルーターであり、UPnP に対応した OS/ソフトウェアとの 組み合わせで動作します。

(2)ボタン

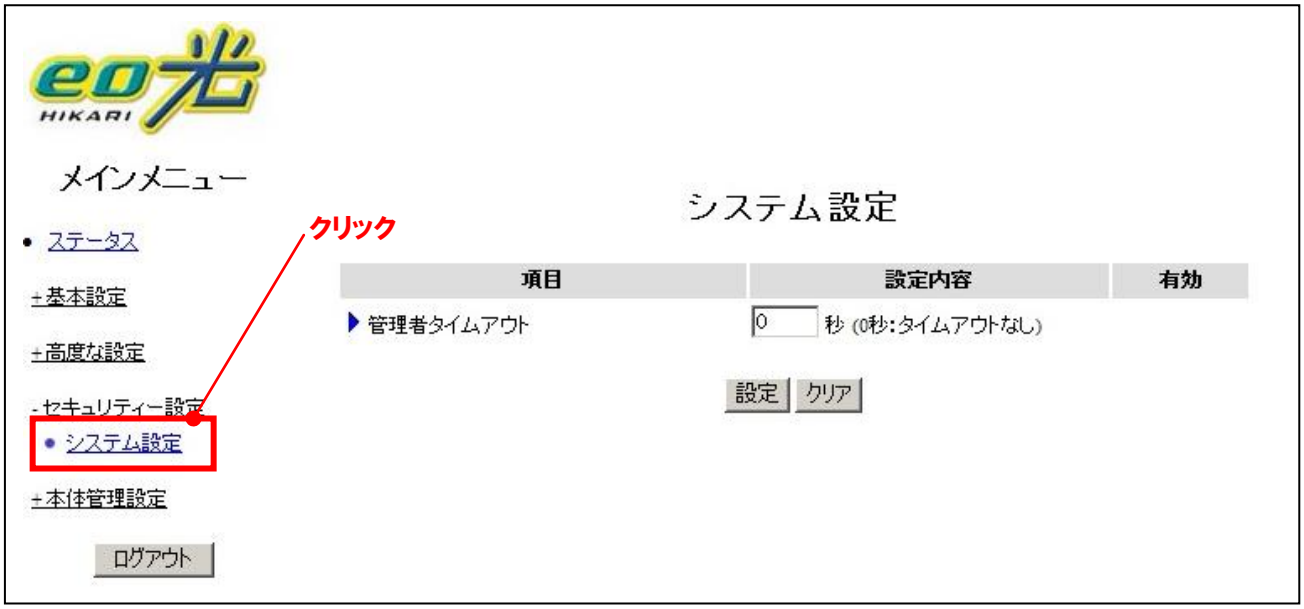
項目	内容
設定	入力内容が設定されます。設定した内容は再起動するまで反映されません。
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

5. セキュリティー設定

5－1 システム設定(管理者タイムアウト設定)

[メインメニュー]から[セキュリティー設定]→[システム設定]をクリックします。管理者タイムアウト時間を設定できます。



(1)管理者タイムアウト時間の設定

項目	内容
管理者タイムアウト	設定画面を開き、何も操作しなかったときに、設定画面からログアウトするまでの時間を入力します。(初期値:0 秒)

(2)ボタン

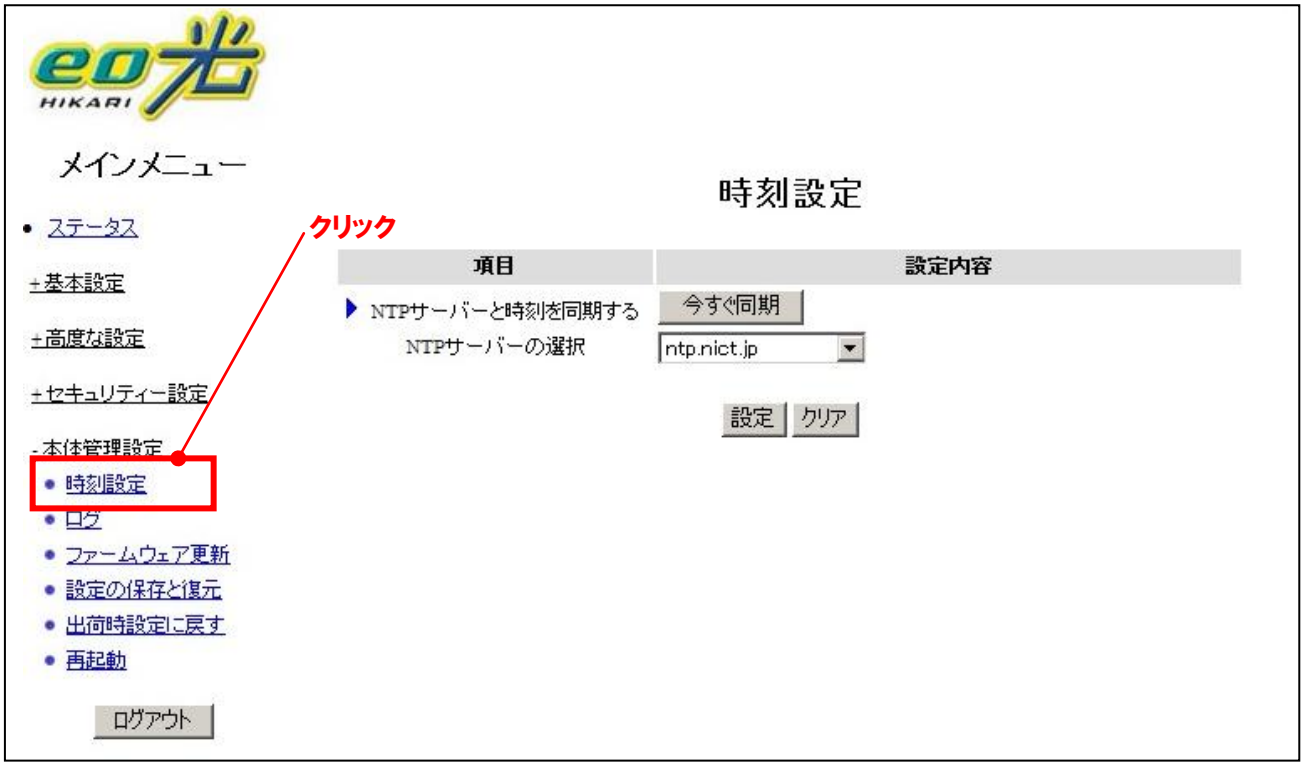
項目	内容
設定	入力内容が設定されます。設定した内容は再起動するまで反映されません。
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

6. 本体管理設定

6－1 時刻設定

[メインメニュー] から [本体管理設定] → [時刻設定] をクリックします。本製品の内蔵時計の時刻設定ができます。



(1)時刻設定

項目	内容
NTP サーバーと時刻を同期する	本製品の内蔵時計を NTP サーバーと同期させます。[今すぐ同期] をクリックすると時刻を同期させます。
NTP サーバーの選択	同期させる NTP サーバーを選択します。

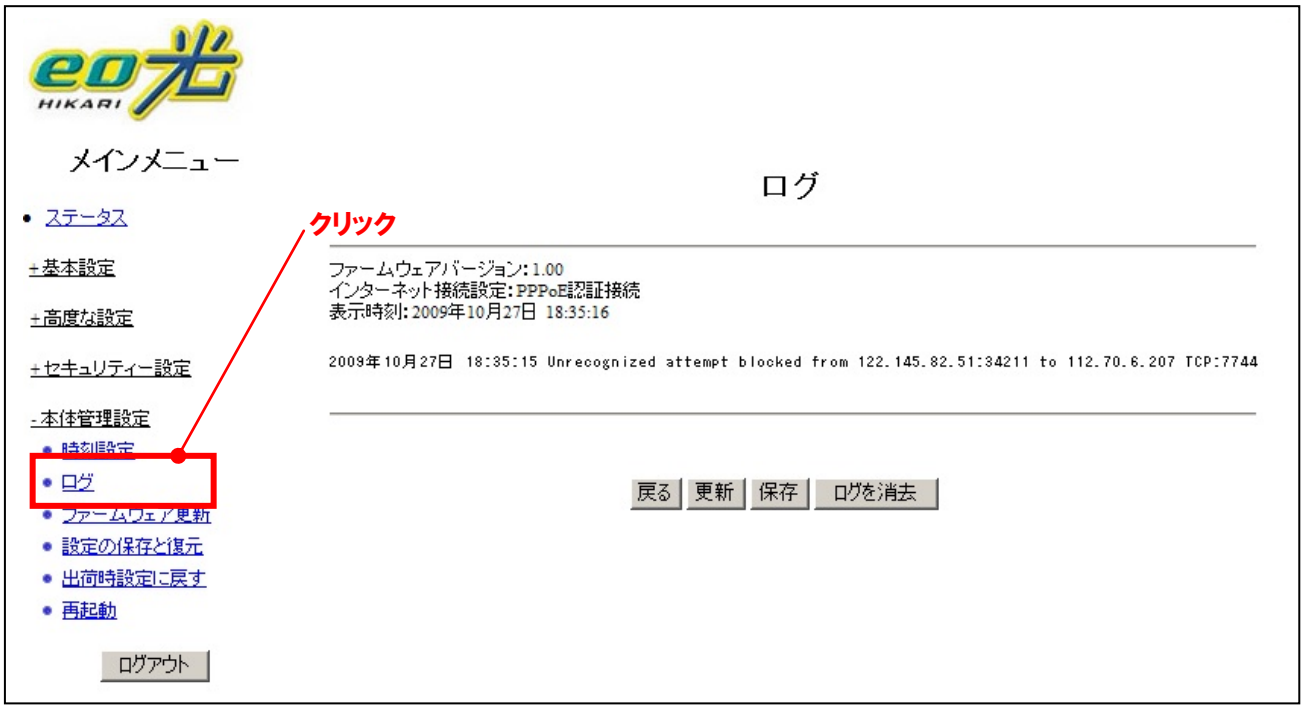
(2)ボタン

項目	内容
設定	入力内容が設定され、反映されます。
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

6－2 ログ表示

[メインメニュー] から [本体管理設定] → [ログ] をクリックします。本製品のログを表示できます。



(1)ログ表示の説明

表示	内容
Unrecognized attempt blocked from xxx.xxx.xxx.xxx:aaa to yyy.yyy.yyy.yyy TCP:bbb	IP アドレスが xxx.xxx.xxx.xxx のパソコンから IP アドレスが yyy.yyy.yyy.yyy のパソコンの TCP ポート bbb 番への許可されていないアクセスを遮断しました。
Restarted by xxx.xxx.xxx.xxx	IP アドレスが xxx.xxx.xxx.xxx のパソコンにより再起動されました。
Admin from xxx.xxx.xxx.xxx login successful	IP アドレスが xxx.xxx.xxx.xxx のパソコンが設定画面へのログインに成功しました。
xxx.xxx.xxx.xxx login failed	IP アドレスが xxx.xxx.xxx.xxx のパソコンが設定画面へのログインに失敗しました。
xxx.xxx.xxx.xxx logged out	IP アドレスが xxx.xxx.xxx.xxx のパソコンが設定画面からログアウトしました。
DOD:xxx.xxx.xxx.xxx query DNS for www.xxxxx.xxx	IP アドレスが xxx.xxx.xxx.xxx のパソコンからの"www.xxxxx.xxx"へのアクセスによりインターネットへの接続を開始しました。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

表示	内容
DOD:TCP trigger from xxx.xxx.xxx.xxx:aaa to yyy.yyy.yyy.yyy:bbb	IP アドレスが xxx.xxx.xxx.xxx のパソコンから IP アドレスが yyy.yyy.yyy.yyy のパソコンへの TCP ポート bbb 番のアクセスによりインターネットへの接続を開始しました。
PPPoE start to dial-up	PPPoE セッションの接続を開始。
Connection is broken	接続が切断されました。
PPPoE start to hang-up	PPPoE セッションを切断しました。
PAP3: OK	PAP 認証に成功しました。
PAP3: Fail	PAP 認証に失敗しました。
CHAP3: OK	CHAP 認証に成功しました。
CHAP3: Fail	CHAP 認証に失敗しました。
IPCP3: IP is xxx.xxx.xxx.xxx	インターネット側 IP アドレスは xxx.xxx.xxx.xxx です。
IPCP3: DNS1 is xxx.xxx.xxx.xxx	DNS サーバーの IP アドレスは xxx.xxx.xxx.xxx です。
ERR: Corrupted coninfo	設定情報が壊れている可能性があります。一度設定を初期化し、再度設定してください。
Syn Time: xxxx	xxxx に時刻同期を行いました。

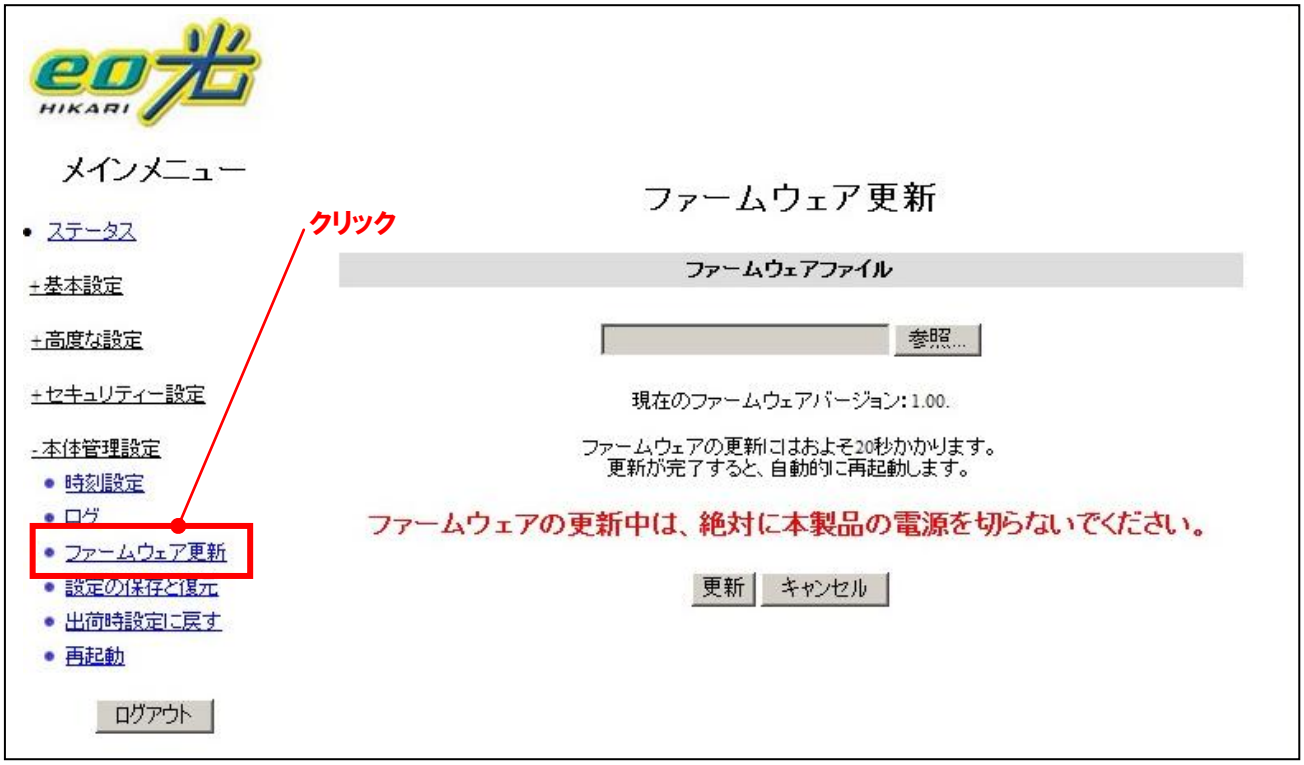
（２)ボタン

項目	内容
更新	ログを最新の状態に更新します。
保存	ログの内容を保存するため、メモ帳等で開きます。
ログを消去	表示されているログの内容を消去します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

6－3 ファームウェア更新

[メインメニュー] から [本体管理設定] → [ファームウェア更新] をクリックします。本製品のファームウェアの更新ができます。



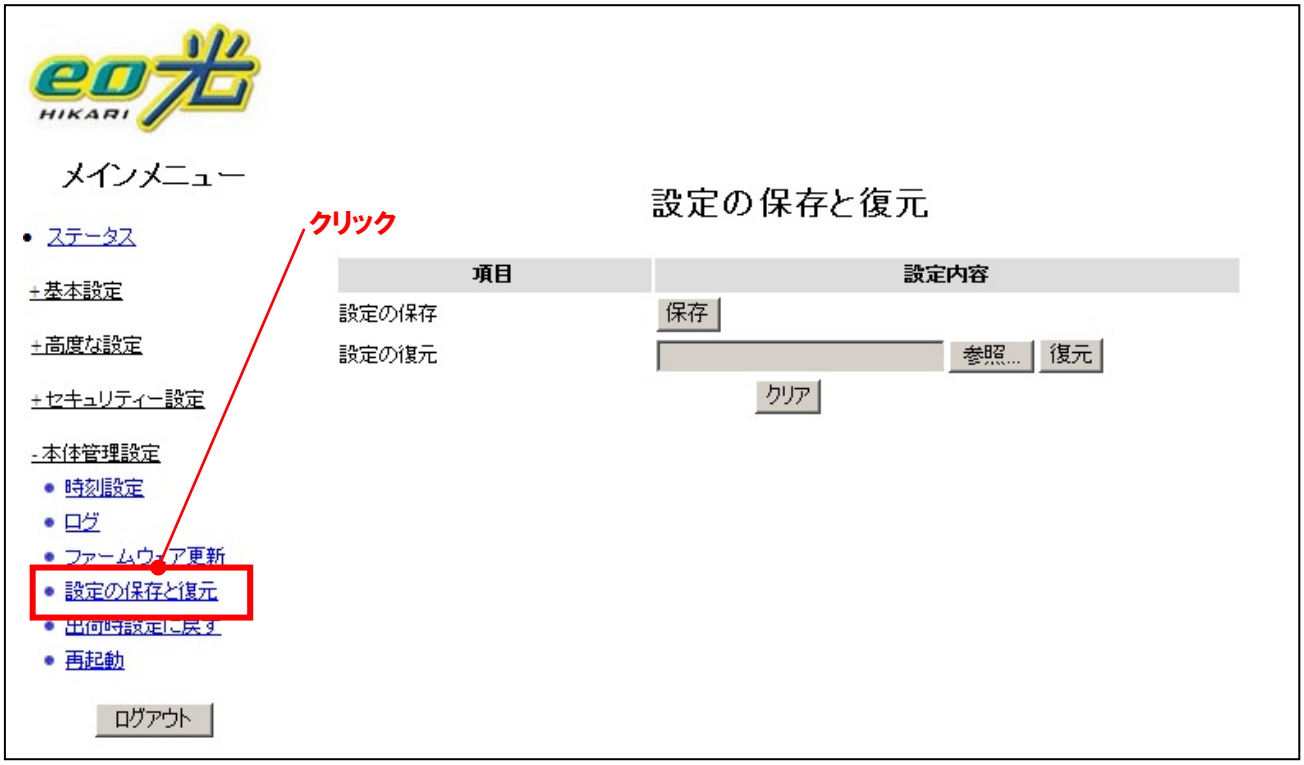
(1)ファームウェア更新

手順	
1	最新のファームウェアファイルを入手し、ファイルを解凍しておきます。
2	安全に更新するために、以下の作業を行ってください。 ・設定を行うパソコンのみ本製品に接続します。 ・[WAN] ポートからLANケーブルを外します。 ・パソコンに常駐しているソフトウェアを停止します。
3	[ファームウェア更新] の[参照]ボタンをクリックして、ファームウェアファイルの場所を指定します。ファイルを指定後、[更新]ボタンをクリックします。更新を開始します。 更新中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。故障の原因となります。
4	更新完了後、本製品を再起動します。50 秒ほどお待ちください。
5	[ファームウェア更新] 画面の[現在のファームウェアバージョン]で、更新後のバージョンになっていることをご確認ください。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

6－4 設定の保存と復元

［メインメニュー］から［本体管理設定］→［設定の保存と復元］をクリックします。本製品の設定を保存し、また復元ができます。



(1)設定の保存および復元

項目	内容
設定の保存	本製品の各種設定情報をファイルに保存できます。
設定の復元	［設定の保存］で保存したファイルから、本製品の各種設定情報を復元できます。

(2)ボタン

項目	内容
クリア	入力内容を変更前の状態に戻します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

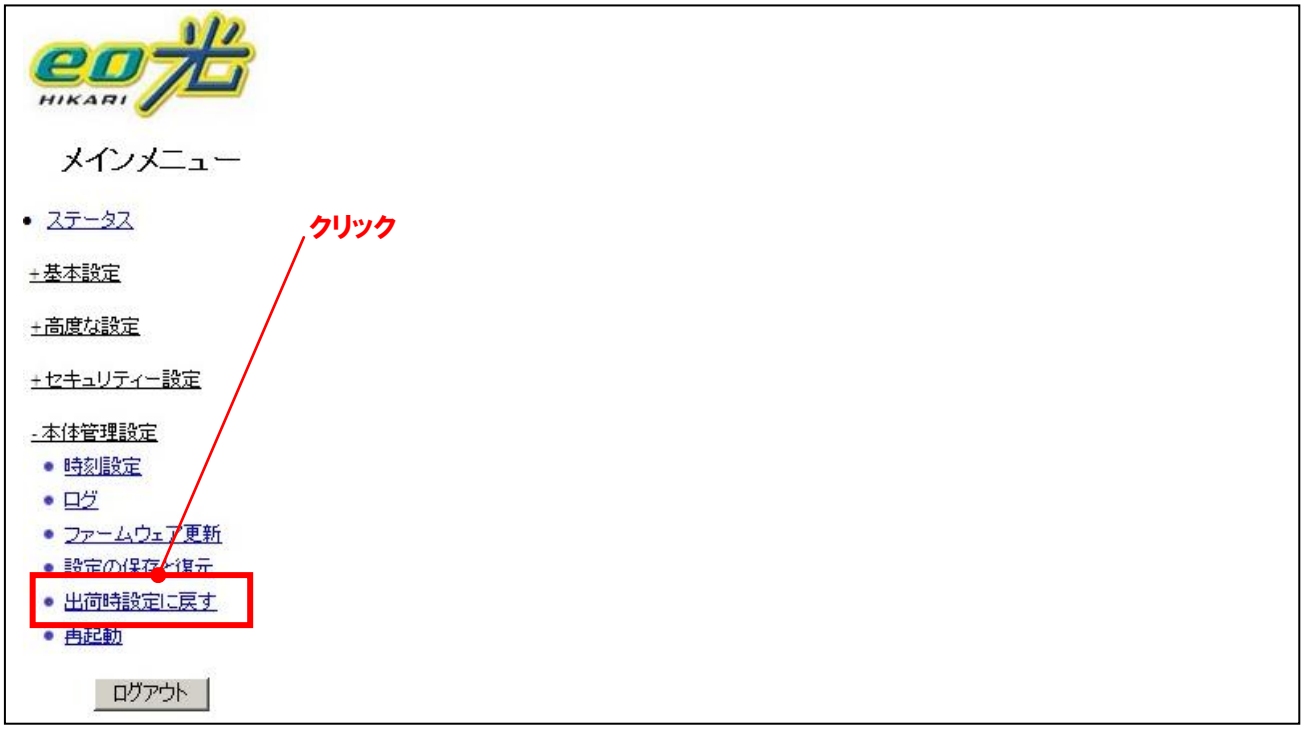
6－5 出荷時設定に戻す

本製品の設定を出荷時の設定に戻します。

【注意】 出荷時設定に戻した場合、[認証ID(ユーザー名)] および [認証IDパスワード] も消去されます。出荷時設定に戻した場合は、[3－1 インターネット接続設定] のとおり [認証ID(ユーザー名)] および [認証IDパスワード] を再設定してください。

(1)手順

① [メインメニュー] から [本体管理設定] → [出荷時設定に戻す] をクリックします。



② 次の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

【ボタンの説明】

項目	内容
OK	初期化を行う場合にクリックします。
キャンセル	初期化を中止します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

③ 次の画面が表示されますので、[OK]をクリックして本製品を再起動してください。

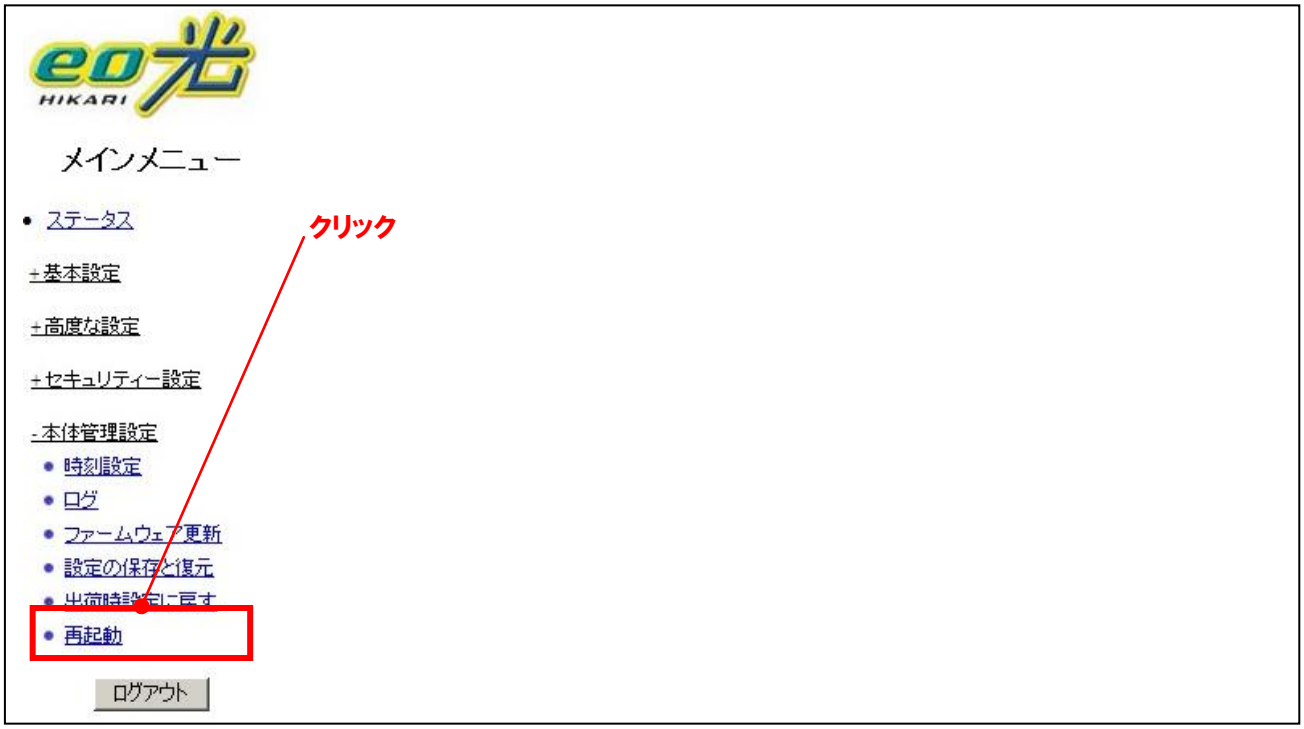
Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.

6－6 再起動

本製品を再起動します。

(1)手順

① [メインメニュー]から[本体管理設定]→[再起動]をクリックします。



② 次の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。

【ボタンの説明】

項目	内容
OK	本製品の再起動を行う場合に、クリックします。
キャンセル	再起動を中止します。

Copyright © K-Opticom Corporation. All Rights Reserved.